

### 設置計画の概要

事項	記入欄
事前相談事項	事前伺い
計画の区分	研究科の専攻の設置
フリガナ者	コクワダガクホウジン トウキョウガクコクダガク 国立大学法人 東京外国語大学
フリガナ大学名	トウキョウガクコクダガク 東京外国語大学大学院 (Tokyo University of Foreign Studies Graduate School)
新設学部等において養成する人材像	<p><b>【世界言語社会専攻】</b> 世界諸地域の言語・文化・社会を複合的・総合的に捉える視点から教育・研究を行うことにより、専門的知識と高度な研究能力とともに、地球社会化時代にふさわしい双方向のコミュニケーション力、コーディネート力、コンフリクト耐性を備えた多言語グローバル人材を養成し、社会に送り出すことを目的とする。 (言語文化コース) ①世界諸地域の言語・文化に関する専門教育研究を推進し、高度な言語知識と地域に関する総合的な視点を備えた人材を養成する。 ②専門とする言語の高度な運用能力と地域の文化に関する高度な専門知識、並びに関連領域の専門知識を習得させる。 ③博士後期課程への進学、多国籍企業、マスコミ、中等教育機関の教員等への就職 (国際社会コース) ①世界諸地域の社会並びに国際社会に関する専門教育研究を推進し、コーディネート力、コンフリクトへの耐性を有する人材を養成する。 ②社会科学の高度な専門知識と世界諸地域の社会に関する高度な専門知識、並びに関連領域の専門知識を習得させる。 ③博士後期課程への進学、国際公務員、多国籍企業、金融機関等への就職。 (Peace and Conflict Studies コース) ①紛争当事国の諸大学とのネットワークを活用した平和構築・紛争予防教育研究を推進し、国際社会で活躍し、平和構築に寄与する国際的リーダーを養成する。 ②平和構築・紛争予防に関する高度な専門知識と、紛争地域における当事者との対話を可能にする高度なコミュニケーション能力を習得させる。 ③博士後期課程への進学、外国政府の公務員、国際公務員、外国大学の教員等への就職。</p> <p><b>【国際日本専攻】</b> 国際日本専攻では、世界の諸言語の中の日本語、世界の中での日本文化と日本社会を、比較の視座をもって研究し、日本についての客観的な視座をもつ人材を養成する。また、それにより、優れた日本研究者、日本や世界で活躍する日本語教育者、日本社会を真に理解し、母語または外国語として高度な日本語を操る高度職業人を社会に送り出す。 (国際日本コース) ①国際的な視点からの日本研究・日本語教育を推進し、国際的な視点を備えた日本研究人材を養成する。 ②日本・日本語に関する高度な専門知識と、それを国際的な視座から捉える能力、並びに関連する領域の専門的知識を習得させる。 ③博士後期課程への進学、海外教育機関、海外展開する日本企業への就職。 (日本語教育リカレントコース) ①国内外の日本語教員に対して1年間のリカレント教育を行い、高度な日本語教育能力を備えた人材を養成する。 ②母語または外国語としての日本語に関する高度な専門知識と、日本語教育の高度な技能を習得させる。 ③国内外における日本語教育機関の教師、海外大学の教員等への就職。</p>
既設学部等において養成する人材像	<p><b>【言語文化専攻】</b> 世界の諸言語についての豊かな知見と運用能力を基盤に、言語および文学や文化現象を対象にして、専門的な学問方法をもって深く立ち入った研究を進める専門研究者を養成する。 (言語・情報学研究コース) ①言語学の諸領域の観点から人間の言語について総合的に、あるいは個別の言語に着目して研究し、多言語化する社会に鋭敏に反応する能力を備えた人材を養成する。②特定の個別言語あるいは超域的な言語学の高度な専門知識およびコーパスや統計解析の高度な運用能力を習得させる。③博士後期課程への進学、言語教育関係の企業、教育機関等への就職 (文学・文化学研究コース) ①文学・文化に関する領域の事象に注目し、超域的にあるいは特定の言語によるテキストから研究し、多文化化する世界をより正確に把握する能力を備えた人材を養成する。②文化・文学の諸領域における幅広い専門知識と特定の個別言語および関連する言語の専門的知識を習得させる。③博士後期課程への進学、出版・マスコミ等の企業、教育機関等への就職</p> <p><b>【言語応用専攻】</b> 言語や文化についての幅広い教養を背景に、諸言語を運用する実践的知識を学び、技法を磨いて、言語と地域に関わる専門的な業務に携わる高度職業人を養成する。 (日本語教育学専攻コース) ①研究能力と応用実践力の双方をバランスよく身につけた、日本語教育の分野で指導的な役割を果たすことのできる人材を養成する。②外国語或いは第二言語としての日本語教育に関わる幅広い専門知識の習得。③国内外の教育機関における日本語教師 (英語教育学専攻コース) ①言語習得研究や指導理論に基づく教授理論の知識や、実践的な指導技術備えた英語教育の専門家養成する。②英語教育学の高度な専門知識および実践的な指導技術を習得させる。③初等中等学校の英語教師、大学の教員養成課程の教員、英語関係の出版社や教材開発会社等への就職。 (言語情報工学専攻コース) ①英語や日本語だけでなく、様々な言語と情報技術との関わりを理解し、情報技術を背景とする深い認識を身につけた人材を養成する。②言語教育、グローバルコミュニケーション、情報メディアと地域社会に関する高度な専門知識および情報学的方法を使った実践的分析能力を習得させる。③情報通信サービスやソフトウェアサービス企業等への就職。 (国際コミュニケーション・通訳専攻コース) ①英語を駆使するプロとして国際ビジネスやジャーナリズムの場面で活躍する専門職業人を養成する。②英語と日本語の高度な運用能力および世界の政治、経済、文化などの幅広い専門知識を習得させる。③同時通訳・翻訳など外国語の高度な運用能力を生かせる職業への就職。</p> <p><b>【地域・国際専攻】</b> 現地語の高度な運用能力をもって各地域に直接に分け入り、あるいは国際社会に身を置いて、その政治・経済・社会・文化などの諸現象を専門的に分析し考察する専門研究者を養成する。 (地域研究コース) ①グローバル化によって再編成が迫られている地域概念において、様々な視点・アプローチにより複雑な世界を読み解き、解明する能力を備えた人材を養成する。②特定の地域および分析視点・テーマにおける高度な専門知識と、テキスト分析や数量データ分析等の高度な専門知識を習得させる。③博士後期課程への進学、官公庁、教育機関、一般企業等への就職 (国際社会研究コース) ①学術的な裏付けをもとに、世界の諸地域で起こっていることの真相に迫ることのできる能力を備えた人材を養成する。②社会科学の諸領域における高度な専門知識と国際社会の構造や動態に関する幅広い知識を習得させる③博士後期課程への進学、官公庁、教育機関、金融機関等への就職</p> <p><b>【国際協力専攻】</b> 国際協力や平和構築・紛争予防という実際の課題について、それを学問的に考え、知識や技法を学んで、国際的な実務において洞察力や行動力を発揮できるような高度職業人を養成する。 (国際協力専攻コース) ①世界の政治、経済、社会、文化などについての専門知識と外国語の運用能力を備え、社会の各分野で活動できる行動力のある人材を養成する。②国際協力をはじめとする広義の国際関係論の専門知識および、地域研究や言語研究をもとにした専門知識を習得させる。③国際機関や外交官その他公務員への就職。 (平和構築・紛争予防専攻コース) ①全授業を英語で行い「平和構築・紛争予防」に貢献できる、国際的な専門家を養成する。②世界各地の紛争を多角的な観点・手法から専門的に研究し、紛争の解決と予防、平和構築の諸条件や方法に関する専門知識を習得させる。③外務省・国際機関等への就職。</p>

新設学部等において取得可能な資格		<p>【総合国際学研究所 世界言語社会専攻】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学・高校教員専修（英語、社会・地理歴史）</li> <li>① 国家資格 ② 資格取得可能</li> <li>③ 修了要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</li> </ul>										
既設学部等において取得可能な資格		<p>【総合国際学研究所 言語文化専攻】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学・高校教員専修（英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、モンゴル語、ベトナム語、国語）</li> <li>① 国家資格 ② 資格取得可能</li> <li>③ 修了要件単位に含まれる科目のほか 教職関連科目の履修が必要</li> </ul> <p>【総合国際学研究所 言語応用専攻】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学・高校教員専修（英語）</li> <li>① 国家資格 ② 資格取得可能</li> <li>③ 修了要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</li> </ul> <p>【総合国際学研究所 地域・国際専攻】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学・高校教員専修（社会・地理歴史・公民）</li> <li>① 国家資格、② 資格取得可能</li> <li>③ 修了要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</li> </ul>										
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員			
		学位又は称号	学位又は学科の分野	異動元	助教以上	うち教授						
	総合国際学研究所 [Graduate School of Global Studies]	世界言語社会専攻 [Master's Program in Global Studies]	2	102	-	204	修士(学術、文学、言語学、国際学)	文学関係 社会学・社会福祉学関係	平成28年 4月	総合国際学研究所言語文化専攻	85	26
		国際日本専攻 [Master's Program in Japan Studies]	2	46	-	86	修士(学術、文学、言語学、国際学)	文学関係 社会学・社会福祉学関係		総合国際学研究所言語応用専攻	10	8
										総合国際学研究所地域・国際専攻	46	31
										総合国際学研究所国際協力専攻	8	6
									その他			
									新規採用			
									計	149	71	
									総合国際学研究所言語文化専攻	4	4	
									総合国際学研究所言語応用専攻	3	3	
									総合国際学研究所地域・国際専攻	1	0	
									総合国際学研究所国際協力専攻			
									その他	25	8	
									新規採用			
									計	33	15	
既設学部等の概要	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員			
		学位又は称号	学位又は学科の分野	異動先	助教以上	うち教授						
	総合国際学研究所	言語文化専攻(廃止)	2	47	-	94	修士(学術、文学、言語学)	文学関係 社会学・社会福祉学関係	平成21年 4月	総合国際学研究所世界言語社会専攻	85	26
		言語応用専攻(廃止)	2	34	-	68	修士(学術、言語学)	文学関係 社会学・社会福祉学関係		総合国際学研究所国際日本専攻	4	4
										退職	4	3
										計	93	33
									総合国際学研究所世界言語社会専攻	10	8	
									総合国際学研究所国際日本専攻	3	3	
									退職			
									その他			
									計	13	11	
									総合国際学研究所世界言語社会専攻	46	31	
									総合国際学研究所国際日本専攻	1	0	
									退職	12	12	
									計	59	43	
									総合国際学研究所世界言語社会専攻	8	6	
									総合国際学研究所国際日本専攻			
									退職			
									計	8	6	
【備考欄】												

教育課程等の概要 (事前伺い)															
(世界言語社会専攻)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	(研究科共通科目)														
	総合国際学研究基礎(Core Seminar)	1前・後	2			○			3					兼2	オムニバス
	異分野交流ゼミ1(Global Studies1)	1・2前		2		○			1						
	異分野交流ゼミ2(Global Studies2)	1・2後		2		○			1						
	短期海外留学	1・2前・後		2		○			5						
	(キャリアプログラム科目群)														
	多文化コーディネーション研究1	1・2前		2		○					1				
	多文化コーディネーション研究2	1・2後		2		○					1				
	日本語教育基礎1	1・2前		2		○								兼1	
	日本語教育基礎2	1・2後		2		○								兼1	
	日本語教育実習研究1	1・2前		2		○								兼1	
	日本語教育実習研究2	1・2後		2		○								兼2	
	世界史教育1	1・2前		2		○				1					オムニバス
	世界史教育2	1・2後		2		○								兼1	
国際行政入門1	1・2前		2		○				1						
国際行政入門2	1・2後		2		○				1						
小計(14科目)	—	—	2	26	0	—	—	—	11	1	1	0	0	兼6	
言語文化コース・国際社会コース共通開講(学術表現演習)	学術英語演習1	1・2前		1			○							兼1	
	学術英語演習2	1・2後		1			○							兼1	
	学術日本語演習1	1・2後		1			○							兼1	
	学術日本語演習2	1・2後		1			○							兼1	
	学術ドイツ語演習1	1・2前		1			○				1				
	学術ドイツ語演習2	1・2後		1			○				1				
	学術フランス語演習1	1・2前		1			○				1				
	学術フランス語演習2	1・2後		1			○				1				
	学術イタリア語演習1	1・2前		1			○				1				
	学術イタリア語演習2	1・2後		1			○				1				
	学術スペイン語演習1	1・2前		1			○				1				
	学術スペイン語演習2	1・2後		1			○				1				
	学術ポルトガル語演習1	1・2前		1			○				1				
	学術ポルトガル語演習2	1・2後		1			○				1				
	学術ロシア語演習1	1・2前		1			○				1				
	学術ロシア語演習2	1・2後		1			○				1				
	学術ポーランド語演習1	1・2前		1			○				1				
	学術ポーランド語演習2	1・2後		1			○				1				
	学術チェコ語演習1	1・2前		1			○				1				
	学術チェコ語演習2	1・2後		1			○				1				
	学術中国語演習1	1・2前		1			○				1				
	学術中国語演習2	1・2後		1			○				1				
	学術朝鮮語演習1	1・2前		1			○				1				
	学術朝鮮語演習2	1・2後		1			○				1				
	学術モンゴル語演習1	1・2前		1			○				1				
	学術モンゴル語演習2	1・2後		1			○				1				
	学術インドネシア語演習1	1・2前		1			○				1				
	学術インドネシア語演習2	1・2後		1			○				1				
	学術マレーシア語演習1	1・2前		1			○				1				
	学術マレーシア語演習2	1・2後		1			○				1				
	学術フィリピン語演習1	1・2前		1			○				1				
	学術フィリピン語演習2	1・2後		1			○				1				
学術タイ語演習1	1・2前		1			○				1					
学術タイ語演習2	1・2後		1			○				1					
学術ラオス語演習1	1・2前		1			○				1					
学術ラオス語演習2	1・2後		1			○				1					
学術ベトナム語演習1	1・2前		1			○				1					
学術ベトナム語演習2	1・2後		1			○				1					
学術カンボジア語演習1	1・2前		1			○				1					
学術カンボジア語演習2	1・2後		1			○				1					
学術ビルマ語演習1	1・2前		1			○				1					
学術ビルマ語演習2	1・2後		1			○				1					
学術ヒンディー語演習1	1・2前		1			○				1					
学術ヒンディー語演習2	1・2後		1			○				1					
学術ウルドゥー語演習1	1・2前		1			○				1					
学術ウルドゥー語演習2	1・2後		1			○				1					
学術アラビア語演習1	1・2前		1			○				1					





## II 教育課程編成の考え方・特色

新たに設置する2専攻では、研究科の共通科目と各専門領域ごとの科目群を設定し、基礎的なリサーチ能力と専攻領域の専門知識、並びに関連領域の専門知識をバランスよく習得させることにより、グローバル化が進行する状況において必要とされる総合的で柔軟な対応力の養成を目指す。

研究科全体の基礎科目として設定される「総合国際学研究基礎」では、大学院での研究遂行に必要なリサーチ・デザインやプレゼンテーションの能力を習得させる。また、同じく研究科の共通科目として開講される「異分野交流ゼミ」において、多彩な研究領域をもつ学生を合同で指導し、学生による発表・討論を重ねることで専攻分野以外にも目を向けさせ、総合的・俯瞰的な視点を得させる仕掛けとする。

同様に研究科共通科目として、キャリア形成に資する実践力を養成するためのキャリア・プログラムを設定する。特に夏学期または冬学期には、通常学期には履修しにくいインターンシップや臨地調査のための科目などを配置し、実践能力を学生の自主的な取り組みによって身につけさせる。

世界言語社会専攻では、①言語文化コース②国際社会コース③Peace and Conflict Studies (PCS) コースを設置し、世界諸地域の言語・文化・社会を複合的・総合的に捉える視点から教育・研究を行うことにより、専門的知識と高度な研究能力とともに、地球社会化時代にふさわしいコミュニケーション力、コーディネイト力、あるいはコンフリクト耐性を備えた多言語グローバル人材を養成し、社会に送り出す。各コースごとの専門科目では、各領域ごとの専門科目群を配置し、同時に関連領域の科目を履修しやすくすることで、体系的かつ柔軟な教育課程の編成を実現する。また、アジア・アフリカ・フィールド・サイエンスプログラムを設定し、フィールドサイエンス実践研究など、フィールド調査・データ分析能力を身につけさせる実践的科目を開講する。

世界言語社会専攻の各コースにおける履修モデルは、以下のとおりである。

### ①言語文化コース

1年次・春学期：「総合国際学研究基礎」を履修し、基礎的なリサーチ能力を習得するとともに、「学術言語演習」を履修し、個別言語の専門的知識を習得する。平行して指導教員による専門科目および専門領域に関連する領域の専門科目も履修する。また、夏学期において、日本語教育実践プログラム等のキャリア・プログラムを履修する。

1年次・秋学期：引き続き「学術表現演習」、「専門科目」を履修すると同時に、「異分野交流ゼミ」において専門が異なる学生との発表・討論を通じ、総合的視点を身につける。冬学期において、引き続き日本語教育実践プログラム等のキャリア・プログラムを履修する。

2年次・春学期：引き続き「異分野交流ゼミ」や「専門科目」を履修する。平行して、指導教員による「修論指導ゼミ」を履修する。夏学期には海外の協定校に短期留学し、専門領域の知見を深める。

2年次・秋学期：引き続き「修論指導ゼミ」を履修し、修士論文を完成させる。

修了者の進路としては、博士後期課程への進学、多国籍企業、マスコミ、中等教育機関の教員等への就職を想定している。

### ②国際社会コース

1年次・春学期：「総合国際学研究基礎」を履修し、基礎的なリサーチ能力を習得する。平行して「学術表現演習」や指導教員による「専門科目」および専門領域に関連する領域の専門科目を履修する。また、夏学期において、国際公共政策プログラム等のキャリア・プログラムを履修する。

1年次・秋学期：引き続き「学術表現演習」や「専門科目」を履修すると同時に、「異分野交流ゼミ」において専門が異なる学生との発表・討論を通じ、総合的視点を身につける。冬学期には海外の協定校に短期留学し、専門領域および総合的な視野の知見を深める。

2年次・春学期：引き続き「異分野交流ゼミ」や「専門科目」を履修する。平行して、指導教員による「修論指導ゼミ」を履修する。夏学期には再び海外の協定校に短期留学し、さらなる専門領域の知見を深める。

2年次・秋学期：引き続き「修論指導ゼミ」を履修し、修士論文を完成させる。

修了者の進路としては、博士後期課程への進学や、国際公務員、多国籍企業、金融機関等への就職を想定している。

### ③Peace and Conflict Studies コース

1年次・秋学期：「総合国際学研究基礎」を履修し、基礎的なリサーチ能力を習得する。平行して「PCS Research Methodology」を履修し、本コースにおける方法論についての知識を習得する。また、指導教員による「専門科目」および専門領域に関連する領域の専門科目を履修する。

1年次・春学期：引き続き「専門科目」を履修すると同時に、「異分野交流ゼミ」において専門が異なる学生との発表・討論を通じ、総合的視点を身につける。

2年次・秋学期：引き続き「異分野交流ゼミ」や「専門科目」を履修する。平行して、指導教員による「修論指導ゼミ」を履修する。

2年次・春学期：引き続き「修論指導ゼミ」を履修し、修士論文を完成させる。

修了者の進路としては、博士後期課程への進学や、外国政府の公務員、国際公務員、外国大学の教員等への就職を想定している。

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
1. 修了要件 本専攻に2年以上在学し、所定の単位を履修し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。	1 学年の学期区分		4 学期
	1 学期の授業期間		1 5 週
	1 時限の授業時間		9 0 分
2. 履修単位 在学期間中に研究科所定の授業科目を履修し、30単位以上を修得する。 履修する授業科目の選択にあたっては、あらかじめ主任指導教員の承認を受けなければならない。			
(1) 言語文化コース 研究科・コース共通科目：「総合国際学研究基礎」「異分野交流ゼミ」各2単位を必修 修士論文指導として、2年次に「修士論文修士研究ゼミ」4単位（半期2単位×2）必修 学術表現演習を同一言語で2単位必修（半期1単位×2） 専攻専門科目：言語文化コースに開設されている科目から12単位以上 選択必修 専攻関連科目：共通科目、国際社会コース、国際日本専攻、学部の授業科目から、8単位まで専攻科目に代えることができる。			
(2) 国際社会コース 研究科・コース共通科目：「総合国際学研究基礎」「異分野交流ゼミ」各2単位を必修 修士論文指導として、2年次に「修士論文修士研究ゼミ」4単位（半期2単位×2）必修 学術表現演習を同一言語で2単位必修（半期1単位×2） 専攻専門科目：国際社会コースに開設されている科目から12単位以上 選択必修 専攻関連科目：共通科目、言語文化コース、国際日本専攻、学部の授業科目から、8単位まで専攻科目に代えることができる。			
(3) Peace and Conflict Studies 研究科・コース共通科目：「総合国際学研究基礎(Core Seminar)」「異分野交流ゼミ(Global Studies)」各2単位を必修 修士論文指導として、2年次に「修士論文修士研究ゼミ(Thesis Seminar)」4単位（半期2単位×2）必修 専攻専門科目：「PCS Research Methodology」2単位を必修 Peace and Conflict Studies に開設されている科目から12単位以上 選択必修 専攻関連科目：共通科目、言語文化コース、国際社会コース、国際日本専攻、学部の授業科目から、8単位まで専攻科目に代えることができる。			

教育課程等の概要 (事前伺い)

(国際日本専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
研究科共通科目	(研究科共通科目)															
	総合国際学研究基礎	1前・後		2			○		1	1					兼3	
	異分野交流ゼミ1	1・2前		2			○								兼1	
	異分野交流ゼミ2	1・2後		2			○								兼5	
	短期海外留学	1・2前・後		2			○									
	(キャリアプログラム科目群)															
	多文化コーディネーション研究1	1・2前		2			○								兼1	
	多文化コーディネーション研究2	1・2後		2			○								兼1	
	日本語教育基礎1	1・2前		2			○		1							
	日本語教育基礎2	1・2後		2			○			1						
	日本語教育実習研究1	1・2前		2			○		1							
	日本語教育実習研究2	1・2後		2			○		1	1						
	世界史教育1	1・2前		2			○								兼1	
	世界史教育2	1・2後		2			○								兼1	
国際行政入門1	1・2前		2			○								兼1		
国際行政入門2	1・2後		2			○								兼1		
小計(14科目)		—	0	28				3	3	0	0	0		兼13		
国際日本専攻 専攻科目	発信英語演習1	1・2前		1			○								兼1	
	発信英語演習2	1・2後		1			○								兼1	
	発信日本語演習1	1・2前		1			○			1						
	発信日本語演習2	1・2後		1			○			1						
	日本語学研究1	1・2前		2			○		3							
	日本語学研究2	1・2後		2			○		3		1					
	対照日本語研究1	1・2前		2			○			1						
	対照日本語研究2	1・2後		2			○			1						
	日本語教育学研究1	1・2前		2			○		2		1					
	日本語教育学研究2	1・2後		2			○		2							
	日本語教育実践研究1	1・2前		2			○		2	1	1					
	日本語教育実践研究2	1・2後		2			○		2	2						
	日本語文学・文化研究1	1・2前		2			○		2							
	日本語文学・文化研究2	1・2後		2			○		2							
	日本比較文学・文化研究1	1・2前		2			○		1							
	日本比較文学・文化研究2	1・2後		2			○		1							
	日本社会研究1	1・2前		2			○			1	1				兼1	
	日本社会研究2	1・2後		2			○			1	1				兼1	
	国際文化交流研究1	1・2前		2			○		1		1					
	国際文化交流研究2	1・2後		2			○		1	1						
	Japan Studies 1	1・2前		2			○								兼2	
	Japan Studies 2	1・2後		2			○								兼2	
	修士論文修士研究ゼミ1	2前		2			○		15	11						
	修士論文修士研究ゼミ2	2後		2			○		15	11						
小計(24科目)		—	4	40				15	13	5	0	0		兼5		
合計(38科目)		—	4	68				15	13	5	0	0		兼18		

学位又は称号 修士(学術、文学、言語学、国際学) 学位又は学科の分野 文学関係、社会学・社会福祉学関係

設置の趣旨・必要性

I 設置の趣旨・必要性

I 設置の趣旨・必要性

東京外国語大学大学院では、設置以来一貫して世界諸地域の言語の運用能力を持ち、その文化・社会に対する的確な知識・知見を身につけた人材を養成してきた。2006年に本学大学院の教育課程を、地域単位別から専門分野別に、そして研究者養成と職業人養成を目的とする専攻に再編二分化し、明確な専門性をもった人材の養成を行ってきた。これにより、研究者養成系の専攻では言語文化、地域研究の研究者を、職業人養成系の専攻では、とくに教育、学習支援の分野や、国際協力関連の分野で高度職業人を輩出してきた。しかしながら、この10年の経過を見ると学生の知識・思考が学問分野の狭い枠内に制約され、履修科目も自己の専攻・コースの範囲内に偏る傾向が著しくなっており、他方では、地域・国際専攻と(平和構築・紛争予防専修コース以外の)国際協力専攻については人材養成面で明確な差が見られないという状況も認められる。これらの要因として、学生の進路選択が多様化し、入学段階では研究者か職業人かの進路選択を明確にしていない学生が増加しているという状況があり、さらに細分化された職業人養成コースの現状も学生の志向の変化と総合力を必要とする産業界の需要にうまく添えなくなっていることが考えられる。日本研究・日本語教育研究については、世界諸地域の言語・文化・社会の研究との対照によってユニークな成果を上げてきたが、各専攻・コースの中に日本関係の教育研究分野が分散配置されたことにより、入口や教育内容が見えにくく、学外からの、とりわけ海外の学生の強い期待に十分に答えられなくなっている。

日本と世界の現状をみると、グローバル化の進展とともに、世界諸地域の言語の高度な運用能力を持ち、その文化・社会に対する的確な知識・知見を身につけるとともに、世界の大きな流れを俯瞰できる総合的な知識を有する人材が求められている。また、昨今の国際情勢のなかで、日本のプレゼンション向上に資する国際的な視座からの日本研究の推進と、各国の教育現場への優秀な日本語教育人材の供給が、我が国が抱える大きな課題として浮かび上がっている。

以上のことから、本学大学院における強化すべき点として、次の3つの目標を設定する。

- ① 学問分野の枠にとらわれない知識・思考を獲得し、現代の多面的な課題に対応できるような総合力の強化
- ② 多様な進路選択に対応して、多言語能力を活かし、職業に直結するスキルを磨く実践力の強化
- ③ 「世界の中の日本」を客観的な視座をもって理解し、世界に向け日本を発信する日本力の強化

これらの目標を達成し、社会の要請に応える人材を育成するため、現行の4専攻を改組し、新たに世界言語社会専攻と国際日本専攻を設置する。

II 教育課程編成の考え方・特色

新たに設置する2専攻では、研究科の共通科目と各専門領域ごとの科目群を設定し、基礎的なリサーチ能力と専攻領域の専門知識、並びに関連領域の専門知識をバランスよく習得させることにより、グローバル化が進行する状況において必要とされる総合的で柔軟な対応力の養成を目指す。

研究科全体の基礎科目として設定される「総合国際学研究基礎」では、大学院での研究遂行に必要なリサーチ・デザインやプレゼンテーションの能力を習得させる。また、同じく研究科の共通科目として開講される「異分野交流ゼミ」において、多彩な研究領域をもつ学生を合同で指導し、学生による発表・討論を重ねることで専攻分野以外にも目を向けさせ、総合的・俯瞰的な視点を得させる仕掛けとする。

同様に研究科共通科目として、キャリア形成に資する実践力を養成するためのキャリア・プログラムを設定する。特に夏学期または冬学期には、通常学期には履修しにくいインターンシップや臨地調査のための科目などを配置し、実践能力を学生の自主的な取り組みによって身につけさせる。

国際日本専攻では、①国際日本コース②日本語教育リカレントコース（1年制）を設置し、世界の諸言語の中の日本語、世界の中での日本文化と日本社会を、比較の視座をもって研究し、日本についての客観的な視座をもつ人材を養成する。それにより、優れた日本研究者、日本や世界で活躍する日本語教育者、日本社会を真に理解し、母語または外国語として高度な日本語を操る高度職業人を社会に送り出す。特に、1年制の日本語教育リカレントコースでは、日本語教育学分野の国内外の有職者（社会人）のリカレントを想定し、高度かつ実践的な日本語教育人材の養成を目指す。

国際日本専攻の各コースにおける履修モデルは、以下のとおりである。

①国際日本コース（2年制）

1年次・春学期：「総合国際学研究基礎」を履修し、基礎的なリサーチ能力を習得するとともに、「発信英語演習」または「発信日本語演習」を履修し、プレゼンテーションスキルを向上させる。平行して指導教員による専門科目および日本語・英語で開講される日本研究領域の専門科目を履修する。

1年次・秋学期：引き続き「発信英語演習」または「発信日本語演習」、「専門科目」を履修すると同時に、「異分野交流ゼミ」において専門が異なる学生との発表・討論を通じ、総合的視点を身につける。冬学期には、海外協定校に設置された本学の拠点「Global Japan Office」などにおいてポランティア活動を行う。

2年次・春学期：引き続き「異分野交流ゼミ」、「専門科目」を履修する。平行して、指導教員による「修論指導ゼミ」を履修する。夏学期には「キャリア・プログラム」として「日本語教育実践プログラム」を受講し、実践的な日本語教育の専門知識を習得する。

2年次・秋学期：引き続き「キャリア・プログラム」を履修するとともに、「修論指導ゼミ」を履修し、修士論文を完成させる。修了者の進路としては、博士後期課程への進学、海外教育機関、海外展開する日本企業への就職等を想定している。

②日本語教育リカレントコース（1年制・秋入学）

秋学期～春学期を通じ、各学期集中的に3～5コマの日本語教育や日本語学の「専門科目」を履修すると同時に、集中講義等を活用し、実践的な日本語教育に関する専門知識を習得する。平行して修士研究の準備を進め、最終的に日本語教育領域における研究成果をまとめる。

修了者の進路としては、国内外における日本語教育機関の教師、海外大学の教員等への就職を想定している。

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
1. 修了要件 本専攻に1年または2年以上在学し、所定の単位を履修し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文・研究の審査及び最終試験に合格すること。	1学年の学期区分	4学期	
	1学期の授業期間	15週	
	1時限の授業時間	90分	
2. 履修単位 在学期間中に研究科所定の授業科目を履修し、30単位以上を修得する。 履修する授業科目の選択にあたっては、あらかじめ主任指導教員の承認を受けなければならない。			
(1)国際日本コース 研究科共通科目：「総合国際学研究基礎」「異分野交流ゼミ」各2単位を必修 修士論文指導として、2年次に「修士論文修士研究ゼミ」4単位（半期2単位×2）必修 専攻専門科目：国際日本専攻に開設されている科目から12単位以上 選択必修 専攻関連科目：共通科目、世界言語社会専攻、学部の授業科目から、10単位まで専攻科目に代えることができる。			
(2)日本語教育リカレントコース 研究科共通科目：修士研究指導として、「修士論文修士研究ゼミ」4単位（半期2単位×2）必修 専攻専門科目：国際日本専攻に開設されている科目から16単位以上 選択必修 専攻関連科目：共通科目、世界言語社会専攻、学部の授業科目から、10単位まで専攻科目に代えることができる。			

教育課程等の概要(事前伺い)

(言語文化専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
言語・情報学 研究コース (個別言語系)	英語学研究	1・2前		2		○			2						兼1
	英語学研究2	1・2後		2		○			2						兼1
	ドイツ語学研究1	1・2前		2		○			1	1					
	ドイツ語学研究2	1・2後		2		○			1	1					
	フランス語学研究1	1・2前		2		○			1		1				
	フランス語学研究2	1・2後		2		○			1		1				
	イタリア語学研究1	1・2前		2		○				1					
	イタリア語学研究2	1・2後		2		○				1					
	スペイン語学研究1	1・2前		2		○			1						
	スペイン語学研究2	1・2後		2		○			1						
	ポルトガル語学研究1	1・2前		2		○			1						
	ポルトガル語学研究2	1・2後		2		○			1						
	ロシア語学研究1	1・2前		2		○				1					
	ロシア語学研究2	1・2後		2		○				1					
	ポーランド語学研究1	1・2前		2		○				1					
	ポーランド語学研究2	1・2後		2		○				1					
	チェコ語学研究1	1・2前		2		○				1					
	チェコ語学研究2	1・2後		2		○				1					
	中国語学研究1	1・2前		2		○			2						
	中国語学研究2	1・2後		2		○			2						
	朝鮮語学研究1	1・2前		2		○				3					
	朝鮮語学研究2	1・2後		2		○				3					
	モンゴル語学研究1	1・2前		2		○					1				
	モンゴル語学研究2	1・2後		2		○					1				
	インドネシア語学研究1	1・2前		2		○				1					
	インドネシア語学研究2	1・2後		2		○				1					
	マレーシア語学研究1	1・2前		2		○					1				
	マレーシア語学研究2	1・2後		2		○					1				
	フィリピン語学研究1	1・2前		2		○					1				
	フィリピン語学研究2	1・2後		2		○					1				
	タイ語学研究1	1・2前		2		○				1					
	タイ語学研究2	1・2後		2		○				1					
	ラオス語学研究1	1・2前		2		○				1					
	ラオス語学研究2	1・2後		2		○				1					
	ベトナム語学研究1	1・2前		2		○									兼1
	ベトナム語学研究2	1・2後		2		○									兼1
	カンボジア語学研究1	1・2前		2		○				1					
	カンボジア語学研究2	1・2後		2		○				1					
	ビルマ語学研究1	1・2前		2		○				1					
	ビルマ語学研究2	1・2後		2		○				1					
	ウルドゥー語学研究1	1・2前		2		○				1					
	ウルドゥー語学研究2	1・2後		2		○				1					
	ヒンディー語学研究1	1・2前		2		○									兼1
	ヒンディー語学研究2	1・2後		2		○									兼1
	ベンガル語学研究1	1・2前		2		○									兼1
ベンガル語学研究2	1・2後		2		○									兼1	
アラビア語学研究1	1・2前		2		○			1							
アラビア語学研究2	1・2後		2		○			1							
ペルシア語学研究1	1・2前		2		○				1						
ペルシア語学研究2	1・2後		2		○				1						
トルコ語学研究1	1・2前		2		○				1						
トルコ語学研究2	1・2後		2		○				1						
日本語学研究1	1・2前		2		○			1							
日本語学研究2	1・2後		2		○			1							
日本語教育学研究1	1・2前		2		○			1						兼1	
日本語教育学研究2	1・2後		2		○			1						兼1	
一般言語学研究1	1・2前		2		○			1							
一般言語学研究2	1・2後		2		○			1							

言語・情報学研究コース(超域研究系)	記述言語学研究 1	1・2前	2	○			1				兼 1
	記述言語学研究 2	1・2後	2	○			1				兼 1
	社会言語学研究 1	1・2前	2	○							兼 1
	社会言語学研究 2	1・2後	2	○							兼 1
	対照言語学研究 1	1・2前	2	○		1	1				兼 1
	対照言語学研究 2	1・2後	2	○		1	1				兼 1
	音声学研究 1	1・2前	2	○		2					
	音声学研究 2	1・2後	2	○		2					
	外国語教育学研究 1	1・2前	2	○							兼 4
	外国語教育学研究 2	1・2後	2	○							兼 4
	言語情報学研究 1	1・2前	2	○							兼 5
	言語情報学研究 2	1・2後	2	○							兼 5
	ゲルマン比較言語文化研究 1	1・2前	2	○			1				
	ゲルマン比較言語文化研究 2	1・2後	2	○			1				
	ロマンス比較言語文化研究 1	1・2前	2	○		2					
	ロマンス比較言語文化研究 2	1・2後	2	○		2					
	スラブ比較言語文化研究 1	1・2前	2	○							兼 1
	スラブ比較言語文化研究 2	1・2後	2	○							兼 1
	東アジア比較言語文化研究 1	1・2前	2	○							兼 1
	東アジア比較言語文化研究 2	1・2後	2	○							兼 1
	東南アジア比較言語文化研究 1	1・2前	2	○				1			
	東南アジア比較言語文化研究 2	1・2後	2	○				1			
	南・西アジア比較言語文化研究 1	1・2前	2	○		1					兼 1
	南・西アジア比較言語文化研究 2	1・2後	2	○		1					兼 1
	日本比較言語文化研究 1	1・2前	2	○		2					
	日本比較言語文化研究 2	1・2後	2	○		2					
認知科学研究 1	1・2前	2	○			1					
認知科学研究 2	1・2後	2	○			1	5				
<b>小計 (86科目)</b>		—	<b>170</b>		—	<b>15</b>	<b>16</b>	<b>4</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>兼40</b>
文学・文化研究コース(個別研究系)	英語文学・文化研究 1	1・2前	2	○		1	1				
	英語文学・文化研究 2	1・2後	2	○		1	1				
	ドイツ語文学・文化研究 1	1・2前	2	○		1	1				
	ドイツ語文学・文化研究 2	1・2後	2	○		1	1				
	フランス語文学・文化研究 1	1・2前	2	○		1	1				
	フランス語文学・文化研究 2	1・2後	2	○		1	1				
	イタリア語文学・文化研究 1	1・2前	2	○		1	1				
	イタリア語文学・文化研究 2	1・2後	2	○		1	1				
	スペイン語文学・文化研究 1	1・2前	2	○			2				
	スペイン語文学・文化研究 2	1・2後	2	○			2				
	ポルトガル語文学・文化研究 1	1・2前	2	○		1					
	ポルトガル語文学・文化研究 2	1・2後	2	○		1					
	ロシア語文学・文化研究 1	1・2前	2	○		1	1				
	ロシア語文学・文化研究 2	1・2後	2	○		1	1				
	ポーランド語文学・文化研究 1	1・2前	2	○							兼 1
	ポーランド語文学・文化研究 2	1・2後	2	○							兼 1
	チェコ語文学・文化研究 1	1・2前	2	○							兼 1
	チェコ語文学・文化研究 2	1・2後	2	○							兼 1
	中国語文学・文化研究 1	1・2前	2	○		1	1				
	中国語文学・文化研究 2	1・2後	2	○		1	1				
	朝鮮語文学・文化研究 1	1・2前	2	○							兼 1
	朝鮮語文学・文化研究 2	1・2後	2	○							兼 1
	モンゴル語文学・文化研究 1	1・2前	2	○		1					
	モンゴル語文学・文化研究 2	1・2後	2	○		1					
	インドネシア語文学・文化研究 1	1・2前	2	○			1				
	インドネシア語文学・文化研究 2	1・2後	2	○			1				
マレーシア語文学・文化研究 1	1・2前	2	○			1					
マレーシア語文学・文化研究 2	1・2後	2	○			1					
フィリピン語文学・文化研究 1	1・2前	2	○							兼 1	
フィリピン語文学・文化研究 2	1・2後	2	○							兼 1	
タイ語文学・文化研究 1	1・2前	2	○				1				
タイ語文学・文化研究 2	1・2後	2	○				1				
ラオス語文学・文化研究 1	1・2前	2	○			1					
ラオス語文学・文化研究 2	1・2後	2	○			1					
ベトナム語文学・文化研究 1	1・2前	2	○				1				
ベトナム語文学・文化研究 2	1・2後	2	○				1				
カンボジア語文学・文化研究 1	1・2前	2	○			1					
カンボジア語文学・文化研究 2	1・2後	2	○			1					

	ビルマ語文学・文化研究 1	1・2前	2	○								兼1
	ビルマ語文学・文化研究 2	1・2後	2	○								兼1
	ヒンディー語文学・文化研究 1	1・2前	2	○		1						
	ヒンディー語文学・文化研究 2	1・2後	2	○		1						
	ウルドゥー語文学・文化研究 1	1・2前	2	○			1					
	ウルドゥー語文学・文化研究 2	1・2後	2	○			1					
	ベンガル語文学・文化研究 1	1・2前	2	○			1					
	ベンガル語文学・文化研究 2	1・2後	2	○			1					
	アラビア語文学・文化研究 1	1・2前	2	○								兼1
	アラビア語文学・文化研究 2	1・2後	2	○								兼1
	ペルシア語文学・文化研究 1	1・2前	2	○		1	1					
	ペルシア語文学・文化研究 2	1・2後	2	○		1	1					
	トルコ語文学・文化研究 1	1・2前	2	○		2						兼2
	トルコ語文学・文化研究 2	1・2後	2	○		2						兼2
	日本語文学・文化研究 1	1・2前	2	○		2						
	日本語文学・文化研究 2	1・2後	2	○		2						
文学・文化研究コース (超域研究系)	超域文化研究 1	1・2前	2	○		1						兼2
	超域文化研究 2	1・2後	2	○		1						兼2
	批評文化研究 1	1・2前	2	○		2						
	批評文化研究 2	1・2後	2	○		2						
	古典文化研究 1	1・2前	2	○		2						
	古典文化研究 2	1・2後	2	○		2						
	表象文化研究 1	1・2前	2	○		1						
	表象文化研究 2	1・2後	2	○		1						
	人類文化研究 1	1・2前	2	○		1						兼1
	人類文化研究 2	1・2後	2	○		1						兼1
	比較文化論研究 1	1・2前	2	○		2						兼3
	比較文化論研究 2	1・2後	2	○		2						兼3
	思想文化論研究 1	1・2前	2	○		1						兼1
	思想文化論研究 2	1・2後	2	○		1						兼1
	ゲルマン比較言語文化研究 1	1・2前	2	○			1					
	ゲルマン比較言語文化研究 2	1・2後	2	○			1					
	ロマンス比較言語文化研究 1	1・2前	2	○		2						
	ロマンス比較言語文化研究 2	1・2後	2	○		2						
	スラブ比較言語文化研究 1	1・2前	2	○								兼1
	スラブ比較言語文化研究 2	1・2後	2	○								兼1
	東アジア比較言語文化研究 1	1・2前	2	○								兼1
	東アジア比較言語文化研究 2	1・2後	2	○								兼1
	東南アジア比較言語文化研究 1	1・2前	2	○				1				
	東南アジア比較言語文化研究 2	1・2後	2	○				1				
南・西アジア比較言語文化研究 1	1・2前	2	○		1						兼1	
南・西アジア比較言語文化研究 2	1・2後	2	○		1						兼1	
日本比較言語文化研究 1	1・2前	2	○		2							
日本比較言語文化研究 2	1・2後	2	○		2							
	<b>小計 (82科目)</b>		<b>164</b>		<b>—</b>	<b>10</b>	<b>11</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>兼36</b>
共通開講 (各個人語)	ギリシア語 1	1・2前	1	○								兼1
	ギリシア語 2	1・2後	1	○								兼1
	ラテン語 1	1・2前	1	○		1						
	ラテン語 2	1・2後	1	○		1						
	サンスクリット語 1	1・2前	1	○		1						
	サンスクリット語 2	1・2後	1	○		1						
	ルーマニア語 1	1・2前	1	○								兼1
	ルーマニア語 2	1・2後	1	○								兼1
	スウェーデン語 1	1・2前	1	○								兼1
	スウェーデン語 2	1・2後	1	○								兼1
	デンマーク語 1	1・2前	1	○								兼1
	デンマーク語 2	1・2後	1	○								兼1
	ノルウェー語 1	1・2前	1	○								兼1
	ノルウェー語 2	1・2後	1	○								兼1
	オランダ語 1	1・2前	1	○								兼1
	オランダ語 2	1・2後	1	○								兼1
	アフリカーンス語 1	1・2前	1	○		1						
	アフリカーンス語 2	1・2後	1	○		1						
ポーランド語 1	1・2前	1	○					1				
ポーランド語 2	1・2後	1	○					1				
チェコ語 1	1・2前	1	○			1						
チェコ語 2	1・2後	1	○			1						

セルビア・クロアチア語 1	1・2前	1	○	1							
セルビア・クロアチア語 2	1・2後	1	○	1							
ブルガリア語 1	1・2前	1	○							兼 1	
ブルガリア語 2	1・2後	1	○							兼 1	
満州ツングース語 1	1・2前	1	○	1							
満州ツングース語 2	1・2後	1	○	1							
チベット語 1	1・2前	1	○							兼 1	
チベット語 2	1・2後	1	○							兼 1	
上海語 1	1・2前	1	○							兼 1	
上海語 2	1・2後	1	○							兼 1	
広東語 1	1・2前	1	○							兼 1	
広東語 2	1・2後	1	○							兼 1	
福建語 1	1・2前	1	○							兼 1	
福建語 2	1・2後	1	○							兼 1	
ベンガル語 1	1・2前	1	○	1							
ベンガル語 2	1・2後	1	○	1							
バーリ語 1	1・2前	1	○							兼 1	
バーリ語 2	1・2後	1	○							兼 1	
アラビア語 1	1・2前	1	○							兼 1	
アラビア語 2	1・2後	1	○							兼 1	
フィリピン語 1	1・2前	1	○							兼 1	
フィリピン語 2	1・2後	1	○							兼 1	
スワヒリ語 1	1・2前	1	○							兼 1	
スワヒリ語 2	1・2後	1	○							兼 1	
ハウサ語 1	1・2前	1	○	1							
ハウサ語 2	1・2後	1	○	1							
古代エジプト語 1	1・2前	1	○	1							
古代エジプト語 2	1・2後	1	○	1							
コプト語 1	1・2前	1	○	1							
コプト語 2	1・2後	1	○	1							
ベルシア語 1	1・2前	1	○							兼 1	
ベルシア語 2	1・2後	1	○							兼 1	
バシュトゥ語 1	1・2前	1	○					1			
バシュトゥ語 2	1・2後	1	○					1			
ヘブライ語 1	1・2前	1	○							兼 1	
ヘブライ語 2	1・2後	1	○							兼 1	
<b>小計 (58科目)</b>	—	<b>58</b>	—	<b>7</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>兼34</b>	
共通開講 (学術表現演)	学術英語演習 1	1・2前	1	○						兼 1	
	学術英語演習 2	1・2後	1	○						兼 1	
	学術ドイツ語演習 1	1・2前	1	○				1			
	学術ドイツ語演習 2	1・2後	1	○				1			
	学術フランス語演習 1	1・2前	1	○				1			
	学術フランス語演習 2	1・2後	1	○				1			
	学術イタリア語演習 1	1・2前	1	○				1			
	学術イタリア語演習 2	1・2後	1	○				1			
	学術スペイン語演習 1	1・2前	1	○				1			
	学術スペイン語演習 2	1・2後	1	○				1			
	学術ポルトガル語演習 1	1・2前	1	○				1			
	学術ポルトガル語演習 2	1・2後	1	○				1			
	学術ロシア語演習 1	1・2前	1	○				1			
	学術ロシア語演習 2	1・2後	1	○				1			
	学術ポーランド語演習 1	1・2前	1	○				1			
	学術ポーランド語演習 2	1・2後	1	○				1			
	学術チェコ語演習 1	1・2前	1	○				1			
	学術チェコ語演習 2	1・2後	1	○				1			
	学術中国語演習 1	1・2前	1	○				1			
	学術中国語演習 2	1・2後	1	○				1			
	学術朝鮮語演習 1	1・2前	1	○				1			
	学術朝鮮語演習 2	1・2後	1	○				1			
	学術モンゴル語演習 1	1・2前	1	○				1			
	学術モンゴル語演習 2	1・2後	1	○				1			
	学術インドネシア語演習 1	1・2前	1	○				1			
	学術インドネシア語演習 2	1・2後	1	○				1			
学術マレーシア語演習 1	1・2前	1	○				1				
学術マレーシア語演習 2	1・2後	1	○				1				
学術フィリピン語演習 1	1・2前	1	○				1				
学術フィリピン語演習 2	1・2後	1	○				1				



教育課程等の概要(事前伺い)

(言語応用専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	日本語教育基礎研究1	1・2前		2		○			2						
	日本語教育基礎研究2	1・2後		2		○			2						
	日本語教育実習研究1	1・2前		2		○			1						
	日本語教育実習研究2	1・2後		2		○			1						
	異文化理解教育研究1	1・2前		2		○								兼1	
	異文化理解教育研究2	1・2後		2		○								兼1	
	日本語教育学臨地研究1	1・2前		2		○								兼1	
	日本語教育学臨地研究2	1・2後		2		○								兼1	
	日本語教育学臨地実習1	1・2前		2		○			1						
	日本語教育学臨地実習2	1・2後		2		○			1						
	日本語学研究1	1・2前		2		○			1					兼1	
	日本語学研究2	1・2後		2		○			1					兼1	
	日本語教育学研究1	1・2前		2		○			2					兼1	
	日本語教育学研究2	1・2後		2		○			2					兼1	
	外国語教育学研究1	1・2前		2		○			4						
	外国語教育学研究2	1・2後		2		○			4						
	対照言語学研究1	1・2前		2		○								兼2	
	対照言語学研究2	1・2後		2		○								兼2	
	社会言語学研究1	1・2前		2		○			1						
	社会言語学研究2	1・2後		2		○			1						
	一般言語学研究1	1・2前		2		○								兼1	
	一般言語学研究2	1・2後		2		○								兼1	
	音声学研究1	1・2前		2		○								兼1	
	音声学研究2	1・2後		2		○								兼1	
	言語情報学研究1	1・2前		2		○			2	1				兼1	
	言語情報学研究2	1・2後		2		○			2	1				兼1	
	日本語表現演習1	1・2前		1			○							兼1	
	日本語表現演習2	1・2後		1			○							兼1	
	(学術表現演習)														
日本語教育学専修コース	学術英語演習1	1・2前		1			○							兼1	
	学術英語演習2	1・2後		1			○							兼1	
	学術ドイツ語演習1	1・2前		1			○							兼1	
	学術ドイツ語演習2	1・2後		1			○							兼1	
	学術フランス語演習1	1・2前		1			○							兼1	
	学術フランス語演習2	1・2後		1			○							兼1	
	学術イタリア語演習1	1・2前		1			○							兼1	
	学術イタリア語演習2	1・2後		1			○							兼1	
	学術スペイン語演習1	1・2前		1			○							兼1	
	学術スペイン語演習2	1・2後		1			○							兼1	
	学術ポルトガル語演習1	1・2前		1			○							兼1	
	学術ポルトガル語演習2	1・2後		1			○							兼1	
	学術ロシア語演習1	1・2前		1			○							兼1	
	学術ロシア語演習2	1・2後		1			○							兼1	
	学術ポーランド語演習1	1・2前		1			○							兼1	
	学術ポーランド語演習2	1・2後		1			○							兼1	
	学術チェコ語演習1	1・2前		1			○							兼1	
	学術チェコ語演習2	1・2後		1			○							兼1	
	学術中国語演習1	1・2前		1			○							兼1	
	学術中国語演習2	1・2後		1			○							兼1	
	学術モンゴル語演習1	1・2前		1			○							兼1	
	学術モンゴル語演習2	1・2後		1			○							兼1	
	学術インドネシア語演習1	1・2前		1			○							兼1	
	学術インドネシア語演習2	1・2後		1			○							兼1	
	学術マレーシア語演習1	1・2前		1			○							兼1	
	学術マレーシア語演習2	1・2後		1			○							兼1	
学術フィリピン語演習1	1・2前		1			○							兼1		
学術フィリピン語演習2	1・2後		1			○							兼1		
学術タイ語演習1	1・2前		1			○							兼1		



通訳専修コース	国際経済論研究 2	1・2後	2	○															兼5	
	環境経済論研究 1	1・2前	2	○															兼1	
	環境経済論研究 2	1・2後	2	○															兼1	
	金融論研究 1	1・2前	2	○															兼1	
	金融論研究 2	1・2後	2	○															兼1	
	比較政治論研究 1	1・2前	2	○															兼4	
	比較政治論研究 2	1・2後	2	○															兼4	
	比較法制度論研究 1	1・2前	2	○															兼1	
	比較法制度論研究 2	1・2後	2	○															兼1	
	比較社会論研究 1	1・2前	2	○															兼3	
	比較社会論研究 2	1・2後	2	○															兼3	
	比較文化論研究 1	1・2前	2	○															兼3	
	比較文化論研究 2	1・2後	2	○															兼3	
	学術英語演習 1	1・2前	1		○															兼1
	学術英語演習 2	1・2後	1		○															兼1
専門特殊研究 1	2前	2		○				1												
専門特殊研究 2	2後	2		○				1												
<b>小計 (38科目)</b>			<b>4</b>	<b>62</b>				<b>1</b>											<b>兼58</b>	
情報工学 1	1・2前	2		○															兼1	
情報工学 2	1・2後	2		○															兼1	
情報学 1	1・2前	2		○				1												
情報学 2	1・2後	2		○				1												
言語情報学研究 1	1・2前	2		○				2	1											
言語情報学研究 2	1・2後	2		○				2	1											
記述言語学研究 1	1・2前	2		○															兼2	
記述言語学研究 2	1・2後	2		○															兼2	
一般言語学研究 1	1・2前	2		○															兼1	
一般言語学研究 2	1・2後	2		○															兼1	
音声学研究 1	1・2前	2		○															兼1	
音声学研究 2	1・2後	2		○															兼1	
(各言語)																				
ギリシア語 1	1・2前	1		○															兼1	
ギリシア語 2	1・2後	1		○															兼1	
ラテン語 1	1・2前	1		○															兼1	
ラテン語 2	1・2後	1		○															兼1	
サンスクリット語 1	1・2前	1		○															兼1	
サンスクリット語 2	1・2後	1		○															兼1	
ルーマニア語 1	1・2前	1		○															兼1	
ルーマニア語 2	1・2後	1		○															兼1	
スウェーデン語 1	1・2前	1		○															兼1	
スウェーデン語 2	1・2後	1		○															兼1	
デンマーク語 1	1・2前	1		○															兼1	
デンマーク語 2	1・2後	1		○															兼1	
ノルウェー語 1	1・2前	1		○															兼1	
ノルウェー語 2	1・2後	1		○															兼1	
オランダ語 1	1・2前	1		○															兼1	
オランダ語 2	1・2後	1		○															兼1	
アフリカーンス語 1	1・2前	1		○															兼1	
アフリカーンス語 2	1・2後	1		○															兼1	
ポーランド語 1	1・2前	1		○															兼1	
ポーランド語 2	1・2後	1		○															兼1	
チェコ語 1	1・2前	1		○															兼1	
チェコ語 2	1・2後	1		○															兼1	
セルビア・クロアチア語 1	1・2前	1		○															兼1	
セルビア・クロアチア語 2	1・2後	1		○															兼1	
ブルガリア語 1	1・2前	1		○															兼1	
ブルガリア語 2	1・2後	1		○															兼1	
満州ツングース語 1	1・2前	1		○															兼1	
満州ツングース語 2	1・2後	1		○															兼1	
チベット語 1	1・2前	1		○															兼1	
チベット語 2	1・2後	1		○															兼1	
上海語 1	1・2前	1		○															兼1	
上海語 2	1・2後	1		○															兼1	
広東語 1	1・2前	1		○															兼1	
広東語 2	1・2後	1		○															兼1	
福建語 1	1・2前	1		○															兼1	
福建語 2	1・2後	1		○															兼1	
ベンガル語 1	1・2前	1		○															兼1	



学術ペルシア語演習 1	1・2前		1			○							兼1
学術ペルシア語演習 2	1・2後		1			○							兼1
学術トルコ語演習 1	1・2前		1			○							兼1
学術トルコ語演習 2	1・2後		1			○							兼1
学術日本語演習 1	1・2前		1			○							兼1
学術日本語演習 2	1・2後		1			○							兼1
専門特殊研究 1	2前	2				○		2	1				
専門特殊研究 2	2後	2				○		2	1				
<b>小計 (124科目)</b>	—	<b>4</b>	<b>134</b>			—		<b>2</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
合計 (264科目)	—	16	332			—		11	1	1	0	0	兼72
学位又は称号	学士 (学術、言語学)		学位又は学科の分野				文学関係、社会学・社会福祉学関係						

教育課程等の概要(事前伺い)

(地域・国際専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
地域研究コース	地域・国際研究基礎論1	1・2前		2		○									兼1
	地域・国際研究基礎論2	1・2後		2		○									兼1
	地域・国際研究方法論1	1・2前		2		○			1						
	地域・国際研究方法論2	1・2後		2		○			1						
	地域研究自立研究方法論1	1・2前		2		○			1						
	地域研究自立研究方法論2	1・2後		2		○			1						
	アジア・アフリカ歴史文化論1	1・2前		2		○			12	2	1				兼1
	アジア・アフリカ歴史文化論2	1・2後		2		○			12	2	1				兼1
	アジア・アフリカ政治経済論1	1・2前		2		○			4		1				兼1
	アジア・アフリカ政治経済論2	1・2後		2		○			4		1				兼1
	オセアニア歴史文化論1	1・2前		2		○				1					
	オセアニア歴史文化論2	1・2後		2		○				1					
	オセアニア政治経済論1	1・2前		2		○									兼1
	オセアニア政治経済論2	1・2後		2		○									兼1
	ヨーロッパ歴史文化論1	1・2前		2		○			4		4				
	ヨーロッパ歴史文化論2	1・2後		2		○			4		4				
	ヨーロッパ政治経済論1	1・2前		2		○			2						
	ヨーロッパ政治経済論2	1・2後		2		○			2						
	アメリカ歴史文化論1	1・2前		2		○			2						
	アメリカ歴史文化論2	1・2後		2		○			2						
	アメリカ政治経済論1	1・2前		2		○			1	1					
	アメリカ政治経済論2	1・2後		2		○			1	1					
	日本歴史文化論1	1・2前		2		○			2						兼1
	日本歴史文化論2	1・2後		2		○			2						兼1
	日本政治経済論1	1・2前		2		○			1						
	日本政治経済論2	1・2後		2		○			1						
小計(26科目)				52		—		23	6	6					
国際社会研究コース	地域・国際研究基礎論1	1・2前		2		○									兼1
	地域・国際研究基礎論2	1・2後		2		○									兼1
	地域・国際研究方法論1	1・2前		2		○			1						
	地域・国際研究方法論2	1・2後		2		○			1						
	地域研究自立研究方法論1	1・2前		2		○			1						
	地域研究自立研究方法論2	1・2後		2		○			1						
	比較政治論研究1	1・2前		2		○			2	1					兼1
	比較政治論研究2	1・2後		2		○			2	1					兼1
	比較経済論研究1	1・2前		2		○			1						
	比較経済論研究2	1・2後		2		○			1						
	比較社会論研究1	1・2前		2		○			3						
	比較社会論研究2	1・2後		2		○			3						
	比較法体論研究1	1・2前		2		○									兼1
	比較法体論研究2	1・2後		2		○									兼1
	国際協力論研究1	1・2前		2		○									兼1
	国際協力論研究2	1・2後		2		○									兼1
	国際関係論研究1	1・2前		2		○									兼1
	国際関係論研究2	1・2後		2		○									兼1
	国際法・機構論研究1	1・2前		2		○			1						
	国際法・機構論研究2	1・2後		2		○			1						
	国際経済論研究1	1・2前		2		○			4						兼1
	国際経済論研究2	1・2後		2		○			4						兼1
	国際文化論研究1	1・2前		2		○			1						
	国際文化論研究2	1・2後		2		○			1						
	グローバルスタディーズ1	1・2前		2		○			1						兼1
	グローバルスタディーズ2	1・2後		2		○			1						兼1
メディア文化研究1	1・2前		2		○			1						兼1	
メディア文化研究2	1・2後		2		○			1						兼1	
比較文化論研究1	1・2前		2		○			1						兼2	
比較文化論研究2	1・2後		2		○			1						兼2	
思想文化論研究1	1・2前		2		○			1							



教育課程等の概要(事前伺い)

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
国際協力専攻	国際協力専修コース	国際協力論研究1	1・2前		2		○			1							
		国際協力論研究2	1・2後		2		○			1							
		国際文化論研究1	1・2前		2		○									兼1	
		国際文化論研究2	1・2後		2		○									兼1	
		国際関係論研究1	1・2前		2		○			3							
		国際関係論研究2	1・2後		2		○			3							
		国際法・機構論研究1	1・2前		2		○									兼1	
		国際法・機構論研究2	1・2後		2		○									兼1	
		国際経済論研究1	1・2前		2		○				1					兼4	
		国際経済論研究2	1・2後		2		○				1					兼4	
		グローバルスタディーズ1	1・2前		2		○			1							
		グローバルスタディーズ2	1・2後		2		○			1							
		環境経済論研究1	1・2前		2		○									兼1	
		環境経済論研究2	1・2後		2		○									兼1	
		金融論研究1	1・2前		2		○									兼1	
		金融論研究2	1・2後		2		○									兼1	
		比較政治論研究1	1・2前		2		○			1						兼3	
		比較政治論研究2	1・2後		2		○			1						兼3	
		比較法制度論研究1	1・2前		2		○				1						
		比較法制度論研究2	1・2後		2		○				1						
		比較社会論研究1	1・2前		2		○									兼3	
		比較社会論研究2	1・2後		2		○									兼3	
		比較文化論研究1	1・2前		2		○			2						兼1	
		比較文化論研究2	1・2後		2		○			2						兼1	
		臨地実践演習Ⅰ	1・2前		2		○			4							オムニバス
臨地実践演習Ⅱ	1・2後		2		○			4							オムニバス		
専門特殊研究1	2前		2		○			4	2								
専門特殊研究2	2後		2		○			4	2								
小計(28科目)				4	52				6	2	0	0	0	兼15			
平和構築・紛争予防(PCS)専修コース	PCS Seminar I	1・2前		2		○			1								
		1・2後		2		○			1								
		2後	2		○				1								
		2前	2		○				1								
		Research Methodology in PCS 1	1・2前		2		○			1					兼1		
		Research Methodology in PCS 2	1・2後		2		○			1					兼1		
		Peace Studies 1	1・2前		2		○								兼1		
		Peace Studies 2	1・2後		2		○								兼1		
		International Relations 1	1・2前		2		○			1					兼1		
		International Relations 2	1・2後		2		○								兼1		
		International Law and Cooperation 1	1・2前		2		○								兼1		
		International Law and Cooperation 2	1・2後		2		○								兼1		
		Peace-building 1	1・2前		2		○			1					兼1		
		Peace-building 2	1・2後		2		○								兼1		
		Crisis Management	1・2前又は後		2		○								兼1		
		Global Studies 1	1・2前		2		○			1							
		Global Studies 2	1・2後		2		○			1							
		Peace and Conflict in Japan and North - East Asia	1・2前又は後		2		○								兼1		
		Peace and Conflict in Asia	1・2前又は後		2		○								兼1		
		Peace and Conflict in Middle East	1・2前又は後		2		○								兼1		
Peace and Conflict in Europe	1・2前又は後		2		○								兼1				
Peace and Conflict in Africa	1・2前又は後		2		○								兼1				
Peace and Conflict in Americas	1・2前又は後		2		○								兼1				
臨地実践演習Ⅰ	1・2前		2		○									兼1			
臨地実践演習Ⅱ	1・2後		2		○									兼1			
小計(25科目)				4	46				2	0	0	0	0	兼15			
合計(53科目)				8	98				6	2				兼29			
学位又は称号	学士(国際学)		学位又は学科の分野		文学関係、社会学・社会福祉学関係												